

施策2-2

暮らしを支える地域交通網の充実について

～市内巡回バスくるりんばすの取り組みを中心に～

担当課：市民生活部生活安全課

日進市総合戦略に掲げる数値目標及びKPI達成状況

1 数値目標

基本目標2 健康長寿を支えるまちを創生する

数値目標	初期値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値
公共交通利用の不満割合（％）	45.1 （地域公共交通網形成計画）	41.2 （平成28年度市民意識調査）	—	51.5 （平成30年度市民意識調査）	40

2 KPI

施策2-2 暮らしを支える地域交通網の充実

KPI	初期値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値
日頃バスを利用する人の割合（％）	32.8 （地域公共交通網形成計画）	—	—	34.1 （市民のCOOL CHOICEニーズと地球温暖化問題に関するアンケート調査）	34

※市民意識調査など毎年度実施しないアンケート調査に基づく指標で、当年度の値がないものについては、「—」を記載しています。

市内巡回バス「くるりんばす」の沿革

市内巡回バス「くるりんばす」は、平成8年に「公共施設巡回バス」として試行運行を開始し、平成11年度からは本格運行へと移行しました。運行も当初は週2日、4路線でスタートしましたが、平成21年度には毎日運行8路線となり、本格運行開始時には年間約10万人であった利用者数は、その後、約50万人にまで増加しました。

一方で平成11年度に3,600万円程であった運行経費は平成28年度には1億8,300万円を超えるまで増加しました。

くるりんばす運行開始以後の公共交通網

くるりんばすは運行開始以降、事業規模、利用者数共に順調に拡大してきましたが、一方で民間のバス路線については、主なものだけでも12本の路線が本市から撤退しました。

日進市内を運行していた名鉄バスの主な廃止（休止を含む）路線

平成10年4月1日	藤ヶ丘～米野木 長久手車庫～日進駅
平成16年4月1日	日進駅～諸輪～三好 日進駅～諸輪～豊田市 日進駅～米野木 星ヶ丘～梅森～名商大
平成17年3月6日	藤ヶ丘～砂子～日進駅
平成18年10月1日	赤池～中部国際空港
平成20年4月1日	日進駅～岩崎御岳口～長久手古戦場駅 星ヶ丘～香久山～名商大
平成21年4月1日	赤池駅～愛知学院前～長久手古戦場駅
平成22年4月1日	赤池駅～和合ヶ丘～御岳公園前～赤池駅

※休止期間等あるため、廃止年月日については目安

日進市地域公共交通網形成計画の策定と再編の実施

市が発展を続ける中で、市民の移動の足を将来に渡って確保していくためには、民間バス路線や鉄道を含めた、市全体の公共交通網を充実させる必要が生じました。

そこで、平成27年4月に公共交通政策の基本計画となる「日進市地域公共交通網形成計画」を策定。その後、「日進市地域公共交通再編実施計画」の策定を経て、平成29年4月にくるりんばすの全線再編を実施しました。

くるりんばす再編の概要

再編にあたっては、くるりんばす中央線を民営化した他、民間路線バスや鉄道との路線重複を最大限回避するなど、大規模な変更を施しました。

また、一乗車あたりの料金を100円から200円に値上げする一方で、定期券、回数券を拡充することにより、負担の軽減を図りました。

路線再編の概要

①くるりんばす中央線の民営化→名鉄バス日進中央線へ

	再編前	再編後
路線名	くるりんばす中央線	名鉄バス 日進中央線
運行本数	1日10往復(20便)	1日15往復(30便)
時間	6:50~20:45	6:15~22:43
運賃	200円	対キロ区間制
利用者数	76,380人(平成28年度)	96,118人(平成29年度)

②くるりんばすは、7コースに再編

	再編前	再編後
路線名	中央線、東コース、西コース、南コース、北コース、中コース、東南コース、南西コース (8コース)	赤池線、米野木線、三本木線、梅森線、五色園線、岩崎線、循環線 (7コース)
運行本数	1日11便(毎日)	1日11便(平日) 1日8便(土休日)

路線再編後の料金

◎くるりんばす

- ・1乗車200円(ただし循環線は100円)
- ・回数券100円券×12枚を1,000円で販売
- ・一般、学生定期券を新設、6ヶ月定期券を新設

区分	1か月	3か月	6か月
一般	6,000円	17,000円	32,500円

学 生（高校・大学・専門学校等）	4,000 円	11,000 円	20,000 円
高齢者（市内在住の 65 歳以上）	1,200 円	3,000 円	5,000 円

くるりんばす再編後の状況

一乗車あたりの運賃の値上げや路線が変更となった影響により、平成30年度の「公共交通利用の不満割合」は、平成28年度と比較すると10.3ポイント、初期値と比べても6.4ポイント上昇しました。

一方で、民間路線バスを含む「日頃バスを利用する人の割合」は初期値よりも若干ですが増加しました。

なお、路線の重複を解消した結果、中央線や名鉄バス路線の一部、名鉄豊田線の利用者数は大幅に増加しましたが、くるりんばす全体では利用者数が大きく減少するなど、移動手段の選択に変化がありました。

再編後の利用者増加に向けた取組

くるりんばす再編後の利用促進のため、以下の通り、数多くの事業に取り組みました。

◎プライムツリー赤池 内覧ツアー



市内にオープンした大型商業施設の内覧会にくるりんばすをはじめとした、公共交通機関を使って出掛けるモビリティーマネジメント事業を実施しました。

◎市民まつり車両展示



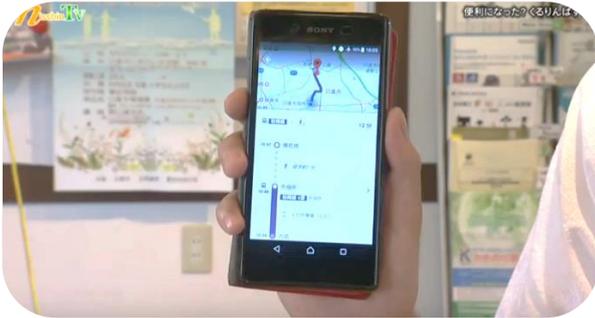
- ・市民まつりで、新規購入したくるりんばすの車両展示を実施しました。
- ・運行事業者の名鉄バスと協働で、子ども用制服を貸し出しておきの、運転手体験会を実施しました。

◎小中学生社会見学



市内小中学校と連携し、コミュニティバスで出掛ける社会見学を実施しました。(相野山小学校、北小学校、南小学校、日進中学校)

◎バスデータの国際標準化（G T F S化）の実施



- ・日進市と名城大学の官学連携により、運行ルート・ダイヤ等を、国際標準形式（G T F S形式）で作成し、一般公開しました。これにより、くるりんばすの経路・乗換案内が、Googleマップで簡単に確認できるようになりました。

◎バスロケーションシステムの導入



- ・パソコンやスマートフォンで、くるりんばすの運行状況や現在位置を確認することが出来るサービスの提供を始めました。

◎積極的なメディア戦略



- ・にっしんテレビ（YouTube）で、くるりんばすの便利な使い方特集番組を作成しました。
- ・名古屋外国語大と連携し、Instagramを用いたバスPR事業を展開しています。
- ・東海テレビ「くるりんばすの旅 in 日進市」の収録に全面協力しました。

広報誌でくるりんばすの旅の連載企画を実施しました

目標達成のための方向性

くるりんばすの利用者数を増加させるためには、公共交通を利用する人の総数を増やす必要があります。また、安全運行、安定運行に努め、信頼度を高めることも必要不可欠です。

そのための方策として、今後、下記の通り取り組みます。

【今後の取り組み】

- ① くるりんばすを使った市民活動の支援等に積極的に取り組みます。
- ② 広報、PRに努め、公共交通の利用を促します。
- ③ 老朽化した車両を順次、更新します。

平成31年度は1台を更新予定（走行距離85万キロ超）

- ④ 公共交通会議の場などで、くるりんばすの路線のあり方について継続的に検討を行います。

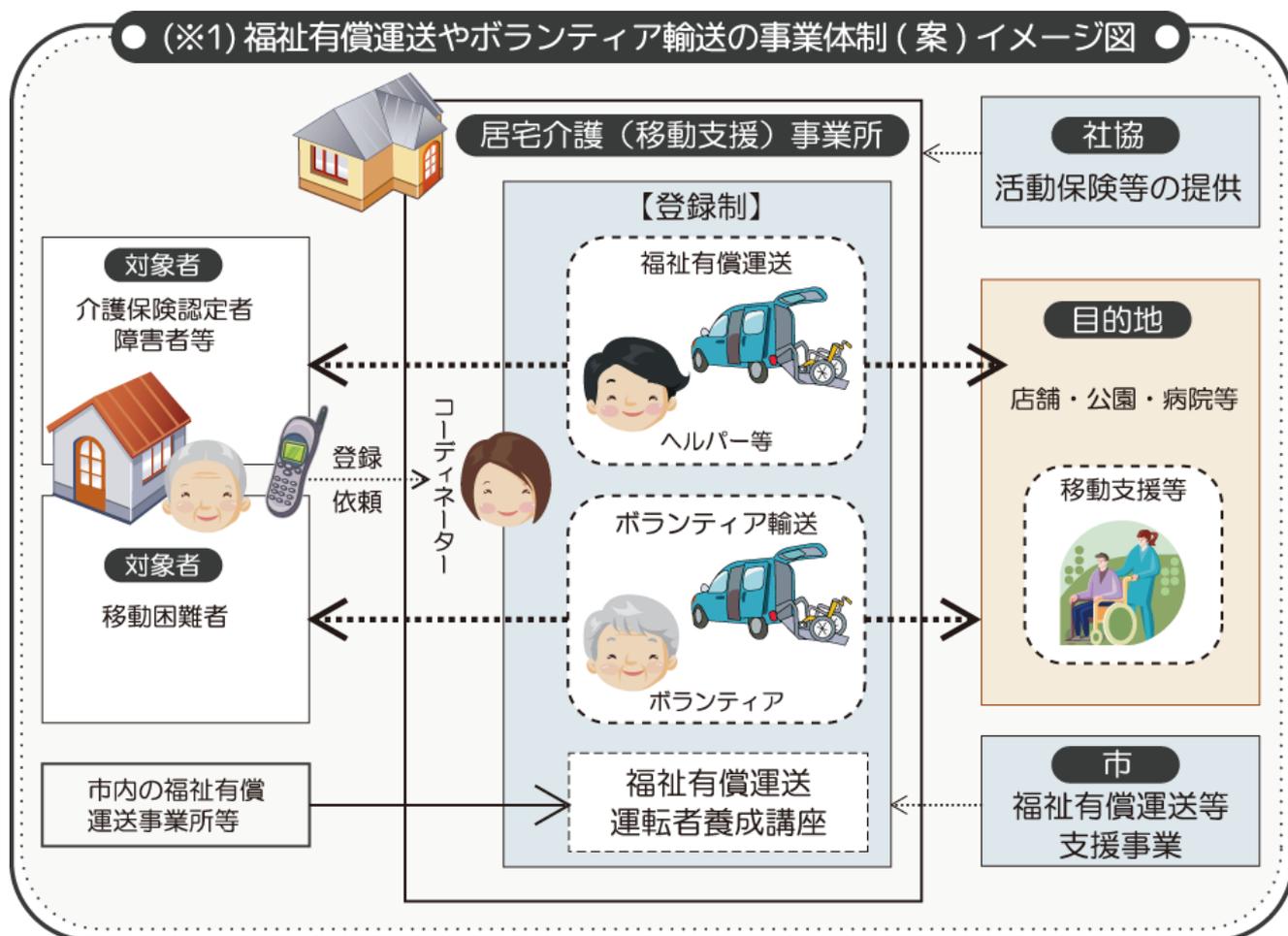
～福祉有償運送・ボランティア輸送支援事業～

担当課：健康福祉部地域福祉課

目的

地域公共交通の利用が難しい高齢者や障害者に対して、地域公共交通網を補完し、買物や通院等市民生活における移動手段、つどいの場への移動等、地域内交流に必要な移動手段を確保するため、移動支援を行うNPO法人等の育成支援を行う。

(※1) 福祉有償運送やボランティア輸送の事業体制(案)イメージ図



『にっしん幸せまちづくりプラン』(平成27年3月策定)から抜粋

福祉車両購入費、事業運営費等への補助（平成27年度）

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用し、ボランティア輸送等の実施を希望するNPO法人に対して、移送に必要な福祉車両の購入費や事業の運営費等に対する補助を行った。

【補助実績】

- ① 特定非営利活動法人 健やかネットワーク
所在地 日進市竹の山一丁目 交付額 3,000千円
- ② 特定非営利活動法人 リビングサポートあいあいの家
所在地 日進市蟹甲町中島 交付額 3,000千円

福祉有償運送の実施実績（平成29年4月～平成30年3月）

住所地 / 名称	利用登録者数	延利用回数
名古屋市名東区 / 特定非営利活動法人介護サービスさくら	29人 ※市内1人	249回 ※市内利用 122回
日進市蟹甲町 / 特定非営利活動法人リビングサポートあいあいの家	33人	695回
日進市竹の山 / 特定非営利活動法人健やかネットワーク	38人	351回

目標達成のための方向性

福祉有償運送を行うNPO法人が抱えるドライバー不足を解消し、公共交通機関の利用が困難な高齢者や障害者等の移動手段を確保するため、福祉有償運送ドライバー養成講習会（座学・路上運転実技・介助実技等）を開催する。

